				土		スポーツ専門学校	
科目名		実用英語Ⅱ 			方法	講義	
担当教	員	Daniel Thomson	」    其	務授業の有無		有	
対象学	科	スキー科スノーボード科	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・	選択	必修	単位数	-	時間数	28時間	
授業形	態		対面授業	(と遠隔授業で実	施		
授業概授業の	要、目的、 進め方	国際化が進み英語力が問われるが 英語に親しむ、慣れる、会話がで			ごを取り入れながら	進める。	
	学習目標 (到達目標) 日常英会話ができる。ウィンタースポーツでコミ			: ュニケーションを図	囚れるようになる。		
テキス	ト・教材・参	和什么料					
考図書	・その他資料	配付資料					
回数		授業項目、内容		学習	プ方法・準備学習	習・備考	
1		k students level.Practice reading	g questions and	print			
2	answering questi Introduction verb	ons s and tha past tense,as well as v	verb	print			
	conjugation.How to change from present tense to past tense.  Verbs-continuous/future tense.Also introduce present perfect			•			
3	tense.			print			
4	Adjectives Asking questions/giving advice			print			
5	Body Parts/Health Describing Interests/Hobbies			print			
6	Review:adjectives,verbs Practice making questions			print			
7	Directions & Loca	ations		print			
8	_	sh English for Everyday Life		print			
9	Reading passage practice	ss,understabding through readir	ig Speaking	print			
10	Airport English M	eeting people		print			
11	Airport English M	eeting people		print			
12	Asking Questions	Making Friends,Chit-chat/sma	ll talk	print			
13	Shopping Listeni	ing practice		print	print		
14	Asking Questions	Making Friends,Chit-chat/sma	II talk	print	print		
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>	
■成績評 A(秀 8	欲・態度・技能に 価4段階評価 10 80点以上)B(優 60点以上)D(不可	70点以上)	5以上)				
実務経	経験教員の経歴			で指導歴あり		-	

科目名		フリースタイルヨ	フリースタイル理論Ⅱ			実技
担当教	員	滝沢光	実	務授業の有無		有
対象学	科	スノーボード専攻科	対象学年	2	開講時期	通年
<mark>必修・</mark>	選択	必修	単位数	_	時間数	28時間
授業形	態		対面授業	美と遠隔授業の実	施	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	スノーボードが上達する上で必	須となる知識をヨ	解する		
学習目 (到達		スノーボードが上達する上で必	須となる知識を到	2解する		
	ト・教材・参					
	・その他資料			_		
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学	習・備考
1	スノーボード中に	おけるライン取りの意味と原理				
2	様々なジャンプ・	ターン方法とターンの重要性				
3	キッカーのアプロ と理想像	ーチとハーフパイプのドロップ	インの原理と方法			
4	空中放物線の仕組	みと理想的な放物線を描いて飛ん	ぶには			
5	キッカーの180と	ハーフパイプのエアーターンの原	理と方法			
6	キッカーの180と	ハーフパイプのエアーターンの原	理と方法			
7	キッカーの360と	ハーフパイプの360の原理と方法				
8	キッカーの360と	ハーフパイプの360の原理と方法				
9	キッカーの540と	ハーフパイプの540の原理と方法				
10	キッカーの540と	ハーフパイプの540の原理と方法				
11	練習時のスピンの	組み立て方と練習構成の方法				
12	フリップ系トリッ	クの原理と方法				
13	トリックのコツ(	「感覚)理論のつなげ方				
14	レールアイテムの	原理とトリックの組み立て方				
15						
16						
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	· 意
■成績評 A(秀 C(良	議欲・態度・技能に 至価4段階評価 10 80点以上)B(優 60点以上)D(不可 経験教員の経歴	70点以上) 可 60点未満)		長4年、SSコーチ8	年、オールアルヒ	

科目名		 スポーツコンディショ	ョニングⅡ		方法	講義	
担当教	 員		<u> </u>	と と と と と と と と と と と と と と と と と と と		 有	
対象学		スノーボード専攻科	対象学年	2	開講時期	通年	
必修・	選択	必修	単位数	_	時間数	28時間	
授業形	態		対面授業	<del>-</del> ↓ 業と遠隔授業の実	施		
スキー、スノーボードにおける外傷・障害に 授業概要、目的、 法を身近な道具を使用し、身体の状態を維持 い、自身に必要なケア、トレーニング、傾向 識理解を目的とし、後期は障害に対してのセ			の状態を維持、	向上する方法を理解す 理解し、各関節におり	rる。前期はアライ けるパフォーマンス	′メントチェックを行	
学習目 (到達		自分の体を知り、コンディショ・ セルフケアの方法と、体に対して					
	ト・教材・参	・入門運動生理学(第3版)・トロ	レーニング指導	 者テキスト(理論編)	・ハ゜ーソナルフィットネストレー	·t-マニュアルV3	
回数		授業項目、内容		学習	<sup>'</sup> 方法・準備学 <mark>'</mark>	習・備考	
1	アライメントチェ	ック(静的、動的アライメント、	柔軟性)	姿勢評価を行う(半 キッド ※フィット		ラ、メジャー、FMS	
2	アライメント分析、評価、メニューの作成			姿勢評価、説明終了			
3	アライメント分析、評価、メニューの作成			メニュー作成			
4	股関節の重要性について(実技)			股関節の基礎動作・知識を理解したのち、股関節の動作による運動への影響を実技の中で体験する			
5	胸郭の重要性について(実技)		股関節の基礎動作・	股関節の基礎動作・知識を理解したのち、股関節の動作による運 動への影響を実技の中で体験する			
6	膝関節の動作と足	首の関係性			作・知識を理解した	のち、関節動作による運	
7	脊柱動作が運動に	及ぼす影響について		脊柱の基礎動作・知 影響を実技の中で体		関節動作による運動への	
8	前期テスト			前期評価テスト			
9	背部痛に対しての	知識とケアの方法		筋筋膜性背部痛理解とケアについて学び、セルフケアの方法を理 解する			
10	背部痛に対しての	知識とケアの方法		解する	筋筋膜性背部痛理解とケアについて学び、セルフケアの方法を理 解する		
11	腰痛に対しての知	識とケアの方法		セルフケアの方法を	筋筋膜性腰部痛やヘルニア、分離症の理解とケアについて学び、 セルフケアの方法を理解する		
12	腰痛に対しての知	識とケアの方法		セルフケアの方法を	理解する	解とケアについて学び、	
13	膝痛に対しての知	識とケアの方法		膝蓋周囲炎、鵞足炎 解と対処法、ケアの		月板損傷など膝の障害理	
14	後期テスト			後期テスト			
		西方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点40 ■成績評 A(秀 : C(良	価4段階評価 10 80点以上)B(優 60点以上)D(不可	り組み、理解度、出席率) 00点満点で評価 70点以上) J 60点未満)	<b>7</b> 211 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	常に多く準備学習が	重要となる。	イントなど学習内容が非	
<b>美務</b> 稻	経験教員の経歴	スノーボード日本代表選手専	#馬トレーナー4年、デ:	フリンピックスノーボードフリ-	- 人タイル日本代表トレーフ	r-2013~現在	

科目名		トレーニング	II		方法	実技		
担当教	 員	小野沢一麻		実務授業の有無		 有		
対象学	<u>科</u>	スノーボード専攻科	対象学年	2	開講時期	通年		
必修・	選択	必修	単位数	_	時間数	28時間		
授業形	態		Ż	付面授業の実施				
授業概	要、目的、 進め方	行い、自身の運動パターンの理解	可動域、コーディネーション能力向上を中心に行い、専門的動作に繋げる運動力の向上と自身の動作分析を 行い、自身の運動パターンの理解と改善点を見つける目を養う。後期には専門的技術トレーニングが始ま り、後期の主となるトレーニング授業となる為、後期は感覚へのトレーニングを中心に行う。					
学習目 (到達		専門的動作に繋げる運動力の向。	L					
	ト・教材・参	・トレーニング指導者テキスト(	(理論編)・パー	ーソナルフィットネストレーナーマニュアル	V3			
回数		授業項目、内容			方法・準備学習			
1	リコンディショニング(基礎体力と体幹トレーニング)			30分の有酸素(心拍 グ、自重トレーニン		ンスボールトレーニン		
2	基礎体力(60分の有酸素運動、体幹トレーニング)			8km有酸素、自重コン	ントロールTR			
3	基礎体力(60分の有酸素運動、体幹トレーニング)			8km有酸素、自重コン	8km有酸素、自重コントロールTR			
4	EPOCトレーニン:	EPOCトレーニング (middle)			ふれあい学校周辺 (1km) ×8本			
5	股関節の動作と運	動パターン・有酸素トレーニング	グ	捻転動作と腰椎、胸	椎の運動パターンと	体重移動		
6	脊柱動作と頭部重	心の運動パターン・EPOCトレー	-ニング	バランスボードを使 理解と分析、動画撮		考え方と運動パターンの		
7	体力測定(800m	走)、球技		ふれあいグラウンド	ふれあいグラウンド			
8	有酸素トレーニン	グとバランストレーニング			8km有酸素、自重コントロールTR			
9	下肢と上肢の連動	性向上の仕組みとトレーニング		回旋動作、クロスアナトミートレインを中心とした連動向上ト レーニング				
10	縦軸、横軸、回旋	軸に対しての運動パターン		IPAD、スローモーション動作分析を行い、滑りからの分析を行う。(小布施Quest、カムイ御坂滑走動画準備)				
11	脊柱動作と頭部重	心の運動パターン(応用)		·	IPAD、スローモーション動作分析を行い、滑りからの分析を行う。(小布施Quest、カムイ御坂滑走動画準備)			
12	アジリティトレー	ニング・反射トレーニング		重心と中心の運動バ	ターン			
13	バランスボード、	ボードトレーニングによる運動バ	パターン	自身の運動と身体へ	の運動パターンへの	入力		
14	体力測定(20Mシ	ャトルランor800m走)、球技		ふれあい体育館				
	 評(	価方法・成績評価基準			履修上の注意	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
■成績評 A(秀 : C(良 :	微・態度・技能に 価4段階評価 16 80点以上)B(優 60点以上)D(不可 ないないを ないを ないを ないを ないを ないを ないを ないを ないを な	70点以上) 可 60点未満)		· ・ ・ ・ ・ フリンピックスノーボードフリ・		ナー2013~現本		
大小加	が我見り性症	ハノ か ド日本10次返す号	neg 1 = 7 = ++, 7	111 C// M/ 11/9		. 1010 OUT		

<b>11 - 1</b>		- DILL	<b>-</b> - / ·			スポーツ専門学校
科目名		ス別トレーニングⅡ(フリ			方法	実技
担当教		滝沢光		務授業の有無	55 - H - 1 - H -	有
対象学		スノーボード専攻科	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・		必修	単位数	——————————————————————————————————————	時間数	56時間
授業形	態		対i	面授業の実施		
	要、目的、 進め方	基礎体力の向上、スノーボード系スノーボードの動きと理論を理解自身に必要な改善点、成長点を配				
	学習目標 基礎体力、持久力の向上、トレーニング基礎理論の復習内容を組み込み理解を深め (到達目標) スノーボード技術向上に繋げる					
テキス	スト・教材・参					
考図書	・その他資料					
回数		授業項目、内容		学習	<sup>」</sup> 方法・準備学習	留・備考
1	基礎トレーニン	ング・球技		全身運動トレーニン	グ、加重、抜重の重	要性
2	基礎トレーニン	ング・球技		全身運動、スノーボ	ードにおける加重、	抜重トレーニング
3	3 基礎トレーニング・球技			全身運動、スノーボ	ードにおける加重、	抜重トレーニング
4	基礎トレーニン	ング・球技		スノーボードの運動性における理論と運動理解、トレーニング		
5	5 基礎トレーニング・球技			スノーボードの運動	性における理論と運	動理解、トレーニング
6	基礎トレーニング・球技			スノーボードの運動	性における理論と運	動理解、トレーニング
7	基礎トレーニン	 ング・球技				動理解、トレーニング
8	実習			カムイ御坂・長野ブラッシュ・小布施クエスト・各地のスケートパーク等		
9	実習			カムイ御坂・長野ブラッシュ・小布施クエスト・各地のスケートパーク等		
10	実習			カムイ御坂・長野ブラッシュ・小布施クエスト・各地のスケートパーク等		
11	実習			カムイ御坂・長野ブラッシュ・小布施クエスト・各地のスケート パーク等		
12	実習			カムイ御坂・長野ブラッシュ・小布施クエスト・各地のスケート パーク等		
13	実習			カムイ御坂・長野ブパーク等	ラッシュ・小布施ク	エスト・各地のスケート
14	実習			カムイ御坂・長野ブパーク等	ラッシュ・小布施ク	エスト・各地のスケート
15						
16						
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	· 意
■成績訊 A(秀 C(良	平価 4 段階評価 10 80点以上)B(優 60点以上)D(不可	70点以上)			年、オールアルビ	「レックスコーチ5年
フてつか作	L-S/CJ/CJ-C + J INTILE	ALIMAN ALIMAN A	. 7/01/21/21/01/17	70		,,

科目名	=	ıース別トレーニング II (b	ス)	方法	実技		
担当教	員	大友秀樹	r.	実務授業の有無		有	
対象学	<del>科</del>	スノーボード専攻科	対象学年	2	開講時期	通年	
必修・	選択	必修	単位数	_	時間数	28時間	
授業形	態		文	面授業の実施			
授業概 授業の <u>学習目</u>		基礎体力、コーディネーション(スノーボード動作における運動)			上を目的する。		
子百日(到達		基礎体力、コーディネーションに	能力の構築				
	<u> </u>						
	・その他資料	・トレーニング指導者テキスト(	(理論編)・パー゙	/ナルフィットネストレーナーマニュアル	V3		
回数		授業項目、内容		学習	プ <mark>方法・準備学</mark> 習	習・備考	
1	基礎トレーニ	ング・球技		全身運動トレーニン	グ、加重、抜重の重	要性	
2	基礎トレーニ	ング・球技		全身運動、スノーボ	ニードにおける加重、	抜重トレーニング	
3	11-11			全身運動、スノーボ	ードにおける加重、	抜重トレーニング	
4	基礎トレーニング・球技			スノーボードの運動	スノーボードの運動性における理論と運動理解、トレーニング		
5	基礎トレーニング・球技			スノーボードの運動	性における理論と運	動理解、トレーニング	
6	基礎トレーニング・球技			スノーボードの運動	性における理論と運	動理解、トレーニング	
7	基礎トレーニ	ング・球技				動理解、トレーニング	
8	コンディショー	ニングトレーニング・実習		ングトレーニング		エスト・コンディショニ	
9	コンディショー	ニングトレーニング・実習		ングトレーニング		エスト・コンディショニ	
10	コンディショ-	ニングトレーニング・実習		ングトレーニング		エスト・コンディショニ	
11	コンディショ	ニングトレーニング・実習		ングトレーニング		エスト・コンディショニ	
12	コンディショ-	ニングトレーニング・実習		ングトレーニング		エスト・コンディショニ	
13	コンディショ	ニングトレーニング・実習		ングトレーニング		エスト・コンディショニ	
14	コンディショニ	ニングトレーニング・実習		カムイ御坂・長野ブングトレーニング	ブラッシュ・小布施ク.	エスト・コンディショニ	
15							
16							
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
■成績評 A(秀	旅欲・態度・技能に 「価4段階評価 16 80点以上)B(優 60点以上)D(不可	70点以上)	6以上)				
実務紹	経験教員の経歴		オール	アルビレックス コーチ1年			

科目名		ウェートトトレー <i>=</i>	- ングⅡ		方法	実技	
担当教		小野沢一麻	1	実務授業の有無	JIA -	有	
対象学		スノーボード専攻科	対象学年	2	開講時期	<del>1</del> 	
必修・		必修	単位数	_	時間数		
授業形		~ 12		<mark></mark>  面授業の実施	3113200	=001m3	
	授業概要、目的、 見られる2年次には更に競技へ特化したトレーニ		ニング方法や、運動/ いく。1年次理論を触	がら、筋発揮向上を目的とする。基礎体力、筋力の構築が ング方法や、運動パターンの入力を行い、直結的にスノー く。1年次理論を勉強している事から、理論と直結する点 につながる効果がもてる			
学習目		筋発揮向上、運動パターン入力	による技術習得	レベルの向上、トレー	-ニング方法の理解		
テキスト・教材・参 考図書・その他資料 ・パーソナルフィットネストレーナーマニュアルV3 ・ストレングス&コンディショニング II							
回数		授業項目、内容		学習	<sup>'</sup> 方法・準備学習	習・備考	
1	①体力測定			身体組成、柔軟性、筋力、	power、筋持久力、反応チェ		
2	BIG 3 を中心とし	たウェイトトレーニング		前年度数值参考(60%低強	渡)による全身トレーニング	7	
3	股関節の運動動作と身体の回旋、ウェイトトレーニング			捻転動作、スポーツへの活	かし方		
4	股関節の運動動作と身体の回旋、ウェイトトレーニング			捻転動作、スポーツへの活	捻転動作、スポーツへの活かし方		
5	頭部重心が及ぼす影響について、ウェイトトレーニング			頭部10%の仕組み、運動へ 重心位置と中心の変化によ			
6	全身トレーニング	· (スピード)		休息時間、セット数、強度 30%~40%)	休息時間、セット数、強度を固定し本格的に全身のトレーニングを行う。(全身発揮 30%~40%)		
7	体力測定			身体組成、柔軟性、筋力、	身体組成、柔軟性、筋力、power、筋持久力、反応チェック		
8	体力測定			身体組成、柔軟性、筋力、	身体組成、柔軟性、筋力、power、筋持久力、反応チェック		
9	BIG 3 体幹トレ	ーニング		トレーニング、シーズンに	BIG3低強度で筋刺激をいれ、体幹、パランストレーニングを中心に翌週から始まる専門 トレーニング、シーズンに向けて少しずつ強度を上げていく		
10	全身トレーニング	゛(スピード) コーディネーション	ントレーニング	休息時間、セット数、強度 30%~40%)	休息時間、セット数、強度を固定し本格的に全身のトレーニングを行う。(全身発揮 30%~40%)		
11	全身トレーニング	`(スピード)コーディネーション	ントレーニング	30%~40%)		<b>ノーニングを行う。(全身発揮</b>	
12	全身トレーニング	`(スピード)コーディネーション	ントレーニング	30%~40%)		<b>ノーニングを行う。(全身発揮</b>	
13	全身トレーニング	゛(スピード) コーディネーション	ントレーニング	休息時間、セット数、強度 30%~40%)	を固定し本格的に全身のトレ	vーニングを行う。(全身発揮	
14	体力測定			身体組成、柔軟性、筋力、	power、筋持久力、反応チェ	: ック	
					履修上の注意		
					1010 I VIII		
■成績評 A(秀 : C(良 :	関心・意欲・態度・技能において評価を行う。(出席率80%以上) ■成績評価 4 段階評価 100点満点で評価 A(秀 80点以上)B(優 70点以上) C(良 60点以上)D(不可 60点未満)						
実務経	経験教員の経歴	スノーボード日本代表選手専	原属トレーナー4年、デ	フリンピックスノーボードフリ-	-スタイル日本代表トレーナ	-2013~現在	

2				全 至	∃本ウィンター	スポーツ専門学校	
科目名		器械体操Ⅱ			方法	実技	
担当教	員 	滝沢 光	<b>9</b>	ミ務授業の有無		有	
対象学	科	スノーボード専攻科	対象学年	2	開講時期	通年	
必修・記		必修	単位数	_	時間数	28時間	
授業形態	能 ————————————————————————————————————			面授業の実施			
授業概 授業の違	要、目的、 進め方	器械体操の基礎技術の確認・応り	用技術の習得。				
学習目標 (到達)		スノーボード競技へ技術の反映。	,				
	ト・教材・参 ・その他資料	なし					
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	留・備考	
1	トランポリン基礎			トランポリン基礎	動作の確認		
2	トランポリン応用			トランポリン上で	の前後左右の回転	技術習得	
3	トランポリン応用			トランポリン上で	トランポリン上での前後左右の回転技術習得		
4	トランポリン応用			トランポリン上で	の前後左右の回転	技術習得	
5	マット運動			マット運動の基礎	的な動作確認と応	用技術の習得	
6	トランポリン応用			トランポリン上で	の前後左右の回転	技術習得	
7	トランポリン応用			トランポリン上で	の前後左右の回転	技術習得	
8	トランポリン応用			トランポリン上で	トランポリン上での前後左右の回転技術習得		
9	トランポリン応用			トランポリン上での前後左右の回転技術習得			
10	トランポリン応用			トランポリン上での前後左右の回転技術習得			
11	トランポリン応用			トランポリン上での前後左右の回転技術習得			
12	マット運動			マット運動の基礎	マット運動の基礎的な動作確認と応用技術の習得		
13	マット運動			マット運動の基礎	マット運動の基礎的な動作確認と応用技術の習得		
14	トランポリン応用			トランポリン上で	の前後左右の回転	技術習得	
	<u>∈π.</u> /	<b>东去汁,此</b> 续变体共准。			履修上の注意	<u> </u>	
	= <del>T</del> 1	価方法・成績評価基準				<u>s</u> ,	
■成績評· A(秀 8	欲・態度・技能に 価4段階評価 10 30点以上)B(優 50点以上)D(不可	70点以上)	6以上)	怪我の発生リスクを 徹底。	下げる為に、安全確	認・自己技術範囲管理の	
実務経	験教員の経歴	新潟県スキー連盟スノーボー	- ド競技強化部	 長4年、SSコーチ8 <sup>2</sup>	年、オールアルヒ	ブレックスコーチ5年	

科目名		スケートボー	·*		方法	実技	
担当教	員	大友秀樹	実	務授業の有無		有	
対象学	科	スノーボード専攻科	対象学年	2	開講時期	通年	
必修・	選択	必修	単位数	_	時間数	28時間	
授業形	態		対ī	面授業の実施			
授業概	要、目的、 進め方	スケートボードとスノーボード	の共通性と非共通	性を理解し、スノ-	ーボードに活きるお	<b>技術を身につける</b>	
学習目:		スケートボードとスノーボード	の共通性と非共通	性を理解し、スノ・	ーボードに活きる抗	支術を身につける	
	ト・教材・参・その他資料						
回数		授業項目、内容		学習		習・備考	
1	前年度の復習と身 フラット・バンク	体の慣らし・プッシュ・ターン	ドロップ				
2		グ・オーリー・フラットトリック	ク				
3	R系パンピング・ク	ターン					
4	コーピングトリッ	ク カービング					
5	カービング ヒッ	プでのターン・コーピングトリッ	ック				
6	ヒップでのターン	・コーピングトリック総合滑走	・ロールアウト				
7	ドロップイン・エ	アー					
8		体の慣らし・プッシュ・ターン					
9	その他の応用	プターン・コーピングトリック		バタフライボウル			
10	カービング・ヒッ その他の応用	プターン・コーピングトリック	・ロールアウト・	バタフライボウル			
11	滑走スピードアッ	プ		バタフライボウル			
12	横・縦回転			ドリームジャンフ	۶		
13	横・縦回転			ドリームジャンフ	,		
14	自分で組んだルー	ティーンとトリックを発表		発表会			
15							
16							
						<b>.</b>	
	計省	西方法・成績評価基準			履修上の注意	己	
■成績評 A(秀 8	欲・態度・技能に 価4段階評価 10 80点以上)B(優 50点以上)D(不可	70点以上)	%以上)				
実終終	験教員の経歴		オールア	ルビレックス コーチ1年			

				<u> </u>	- 1 / 1 . /		
科目名		クリエーション	/		方法	演習	
担当教	員	滝沢 光	実	務授業の有無		有	
対象学		専攻科	対象学年	2	開講時期	前期	
必修・	選択	必修	単位数	_	時間数	14時間	
授業形	態		対面授業	と遠隔授業の実	施		
授業概授業の	要、目的、 進め方	HOW TOの作成					
学習目		知識の活用と技術の探求心向上。					
	ト・教材・参・その他資料	配布資料					
回数		授業項目、内容		学習	<sup>'</sup> 方法・準備学	習・備考	
1	内容の構想			カテゴリー・素材	の選定		
2	内容の構想			カテゴリー・素材	の選定		
3	解説の構想			全体解説・部分解	全体解説・部分解説の作成		
4	解説の構想			全体解説・部分解	説の作成		
5	解説の構想			全体解説・部分解	説の作成		
6	レイアウト			ページレイアウト	・仕上げ		
7	レイアウト			ページレイアウト	・仕上げ		
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
	評化	西方法・成績評価基準			履修上の注	<u>——</u> — 意	
■成績評 A(秀 & C(良 (	価 4 段階評価 10 80点以上)B(優 60点以上)D(不可	70点以上)		なし	<b>左</b>	<b>ジェ</b> カフラ - ゴ「ケ	

科目名		B級検定対策	The state of the s		方法	講義
担当教	員	稲川光伸	実	努授業の有無		有
対象学		スノーボード専攻科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・		必修/選択	単位数	-	時間数	14時間
授業形	態		対面授業	と遠隔授業の実	!施	
授業概授業の	要、目的、 進め方	スノーボードC級インストラク	タースキルUP、	A、B級インストラ	ラクター学科対策と	する
学習目:		スノーボードC級インストラク	タースキルUP、	A、B級インストラ	ラクター学科知識の	習得
	ト・教材・参・その他資料	全日本スノーボード教程、イン	ストラクター学科	検定対策問題プリン	<b>/</b>	
回数		授業項目、内容		学習	プ方法・準備学習	習・備考
1	①ターンを知る (ターンのメカニズム、ターン ど、技術を再確認。)	の形成、スタンス&ポジション、リーン&リーンアウト	、ストローク、回旋操作な			
2	②用語解説 (スノーボードの用語を覚える	5)				
3	③安全対策、雪崩の基礎知識 事故の対応と教急法、雪崩のメカニズム、雪崩事故を防ぐために、捜索と教助のための装備、遺難と教助					
4	④規約·規定 教育本部規定					
5	@ LD 44 LD 12					
6	⑥学科対策問題 (イントラ学科対策問題(技術	編、規約編))				
7	⑦後期テスト			後期テスト実施、評価		
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
	評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意	<b></b>
■成績評 A(秀 & C(良 (	欲・態度・技能に 価4段階評価 10 80点以上) B (優 60点以上) D (不可 医験教員の経歴	70点以上)		なし - ボードスク <i>ー</i> ノ	ル経営	

				王□	コ本ソインダー	スポーツ専門学校	
科目名		指導理論			方法	講義	
担当教	員	稲川光伸	実	務授業の有無		有	
対象学		スノーボード専攻科ビジネスコース	対象学年	2	開講時期	通年	
<mark>必修・</mark>		必修	単位数	_	時間数	28時間	
授業形	<u>態</u>		対面授業	と遠隔授業の実	施		
授業概授業の	要、目的、 進め方	指導力は社会でも必要不可欠で、 性を考える	人を教えるため	の資質を理解し、ス	スノーボードの指導	を通じて指導の必要	
学習目:		指導について必要な知識、理論を	ご学ぶ				
	ト・教材・参	全日本スノーボード教程、他プリ	リントなど				
	・その他資料		1 W.C				
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	習・備考	
1	①指導力の重要性			・指導とは、指導の必要性	、人間的魅力、高い指導力、	高い技術力	
2	①指導力の重要性			・指導とは、指導の必要性	、人間的魅力、高い指導力、	高い技術力	
3	①指導力の重要性			・指導とは、指導の必要性	・指導とは、指導の必要性、人間的魅力、高い指導力、高い技術力		
4	②指導現場における安全対策			・スノーボードの事故を防	ぐには、救急法		
5	②指導現場における安全対策			・スノーボードの事故を防	ぐには、救急法		
6	③スクール実務1			・インストラクターとして	、生徒の志向性、レッスンの	の展開、流れ	
7	前期テスト						
8	③スクール実務1			・インストラクターとして、生徒の志向性、レッスンの展開、流れ			
9	④ワークシート1			・ボードの装着、基本姿勢、転び方・起き方、方向転換、スケーティング、スケーティ ングからの停止			
10	④ワークシート1			・ボードの装着、基本姿勢、転び方・起き方、方向転換、スケーティング、スケーティングからの停止 ・奈ヶ リフト毎リ際リ 伸付け 冷曲 ひわりの脚準 環営リからの停止			
11	⑤ワークシート2			・登行、リフト乗り降り、角付け、何重、ひねりの概要、横滑りからの停止、斜め横滑 りからの停止、木の葉落とし、直滑降からの停止、直滑降から山回り、ノーズドロッ ブ、ガーランド、1ターン、連続ターン ・登行、リフト乗り降り、角付け、荷重、ひねりの概要、横滑りからの停止、斜め横滑			
12	⑤ワークシート2				し、直滑降からの停止、直	骨降から山回り、ノーズドロッ	
13	⑥アザーチェックとセ	ルフチェック		・バッジテストビデオを見 る。	て模擬ジャッジすることで	見る目を養い、フィードバックす	
14	⑥アザーチェックとセ	ルフチェック②		・バッジテストビデオを見 る。	て模擬ジャッジすることで.	見る目を養い、フィードバックす	
	· 	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
■成績評 A(秀 8	微・態度・技能に 価4段階評価 10 80点以上)B(優 60点以上)D(不可	70点以上)		なし			
実務経	経験教員の経歴		妙高山スノー	-ボードスクーノ	レ経営		

科目名		SS研究			方法	実技
担当教			実務授業の有無		<mark>l</mark> 有	
対象学	<u>科</u>	スノーボード専攻科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・	選択	必修	単位数	_	時間数	56時間
授業形	態		文	村面授業で実施	•	•
授業概要、目的、 授業の進め方		スノースケート作り。動画編集。 スキー場でのアイテム製作を通し、実際の現場と道具の扱い方を知る				
学習目標 スノースケート作り。動画編集。 スキー場でのアイテム製作を通し、実際の現場		と道具の扱い方を知	3			
		スノースケート用具(スケート・ 工具(電動ドリル、電動のこぎ		スキー、取り付け金	具)	
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学	習・備考
1	スノースケート作	り(構成・スキー分解)				
2	スノースケート作	り(デッキデザイン)				
3	スノースケート作	り(デッキデザイン)				
4	スノースケート作	り(デッキデザイン)				
5	スノースケート作	り(組み立て、デッキパット調整	整)			
6	スノースケート作り(組み立て、デッキパット調整)					
7	スノースケート作り(ソールメンテナンス、完成)					
8	アイテム補修等の実習(黒姫高原スノーパーク)					
9	アイテム補修等の	実習(黒姫高原スノーパーク)				
10	アイテム補修等の	実習(黒姫高原スノーパーク)				
11	アイテム補修等の実習(黒姫高原スノーパーク)					
12	アイテム補修等の実習(黒姫高原スノーパーク)					
13	アイテム補修等の	実習(黒姫高原スノーパーク)				
14	アイテム補修等の	実習(黒姫高原スノーパーク)				
15						
16						
	評価方法・成績評価基準				履修上の注	意 
関心・意欲・態度・技能において評価を行う。(出席率80%以上) ■成績評価 4 段階評価 100点満点で評価 A (秀 80点以上) B (優 70点以上) C (良 60点以上) D (不可 60点未満) <b>実務経験教員の経歴</b> オールアルビレックス コーチ1年						

科目名		雪上実習Ⅱ		<u> </u>	方法	スポーツ専門学校 実習	
担当教				実務授業の有無	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
対象学		スノーボード専攻科	対象学年		開講時期		
必修・	選択	必修	単位数	_	時間数	456時間	
授業形	態		3	 対面授業で実施			
授業概要、目的、 授業の進め方		スノーボード技術基礎を学び、大会、資格取得、技術向上を目指し練習を行う。 春は学校周辺の赤倉観光リゾートスキー場、ロッテアライリゾートを中心に練習を行い、11月下旬から長野 県の軽井沢プリンスホテルスキー場、焼額山スキー場を中心とし、大会シーズン、検定シーズンとなる2月 をめがけ、XJAM高井富士、赤倉観光リゾートスキー場を中心に対策、練習を行う。					
学習目(到達	信制標)	スノーボード技術の向上及び、学生大会優勝、全日本選手権入賞、インストラクター資格の取得					
	スト・教材・参 ・その他資料	なし					
回数		授業項目、内容			方法・準備学習		
1	春の雪上トレーニ	ング①		LOTTE AEAI RESOF な技術の獲得。	RTにて基礎技術練習、	進級生においては新た	
2	春の雪上トレーニ	ング②		LOTTE AEAI RESOF な技術の獲得。	RTにて基礎技術練習、	進級生においては新た	
3	春の雪上トレーニ	·ング③			RTにて基礎技術練習、	進級生においては新た	
4	雪上トレーニング	*4			・ルスキー場にて板の	操作性	
5	雪上トレーニング	*⑤		軽井沢プリンスホテ 板のチェック	軽井沢プリンスホテルスキー場にて板の操作性		
6	雪上トレーニング⑥			焼額山スキー場にて	焼額山スキー場にてフリー滑走能力の向上、ギアのチェック		
7	雪上トレーニング⑦		焼額山スキー場にて	焼額山スキー場にてフリー滑走能力の向上、ギアのチェック			
8	雪上トレーニング®		焼額山スキー場にて	焼額山スキー場にてフリー滑走能力の向上、ギアのチェック			
9	雪上トレーニング	*9		赤倉観光リゾートス 資格対策	キー場にてフリー滑	走能力向上	
10	雪上トレーニング	***************************************		力向上、資格対策		パークにてフリー滑走能	
11	雪上トレーニング	*(1)		力向上、資格対策		パークにてフリー滑走能	
12	雪上トレーニング	*@		リックの確認、大会	への調整、資格対策	にてオフシーズン練習ト	
13	雪上トレーニング	*13			よませ温泉スキー場 への調整、資格対策	にてオフシーズン練習ト	
14	雪上トレーニング	*(4)		大会への調整、資格	対策・検定		
15	雪上トレーニング	*(6)		大会への調整、資格	対策・検定		
16	雪上トレーニング	*(B)		全日本選手権への調	整、資格・検定		
17	雪上トレーニング	* <sup>®</sup>		全日本選手権への調	整、資格・検定		
	 	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
■成績部 A(秀 C(良	平価 4 段階評価 10 80点以上)B(優 60点以上)D(不可	70点以上)		<b>β長4年、SSコーチ8</b>	4年、オールアルヒ	ごレックスコーチ5年	

科目名		 社会人常識マナ			方法	講義
担当教	<b>員</b>	福山泰子		実務授業の有無		有
対象学	 科	スキー科、スノーボード科	対象学年		開講時期	前期
必修・	選択	必修	単位数	_	時間数	12時間
授業形	態		対面授	業と遠隔授業で実	施	
授業概要、目的、授業の進め方		概 要 社会人としてのビジネスマナー習得 目 的 社会人常識マナー検定3級合格。 進め方 テキストと過去問題を使用。				
学習目標 (到達目標)		社会人常識マナー検定3級取得				
	ト・教材・参	全国経理教育協会 社会人常識	マナー検定3級	、過去問題集		
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	習・備考
1	検定対策1			テキスト、過去問	 閉のポイント解説	
2	検定対策2			テキスト、過去問	引のポイント解説	
3	検定対策3			テキスト、過去問	見のポイント解説	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
評価方法・成績評価基準					履修上の注意	意
平常点40 ■成績評 A(秀	60点以上) B (優 60点以上) D (不可	り組み、理解度、出席率) 00点満点で評価 70点以上) 可 60点未満)		テキストの内容を抵		在(2年2年)
実務経験教員の経歴 18年販売促進コーディネーターの実績、10年リテールマーケティング検定対策(3級2級) ての実績あり。				火(3700人が火) 再別とし		

科目名		スポーツケア			方法	講義	
担当教	<mark>員</mark>	小野沢一麻	実	務授業の有無		有	
対象学	科	スノーボード専攻科	対象学年	2	開講時期	後期	
必修・		必修/選択	単位数	_	時間数	14時間	
授業形	態		対面授業	と遠隔授業の実	施		
授業概要、目的、 授業の進め方		パートナーケア、セルフケアの技術習得 アスリート、コーチ、インストラクターなど自身のコンディショニングから指導まで活かせるケアの基礎知 識習得。スポーツマッサージやストレッチ、ストレッチポールを用いたコンディショニング方法を実技を中 心に展開。					
学習目 (到達	図目標 ストレッチ、スポーツマッサージにおける知識・技術の習得 <b>別達目標)</b>						
	ト・教材・参 ・その他資料	・入門運動生理学(第3版) ・ト	レーニング指導者	テキスト(理論編)	・ パ ーソナルフィットネストレー	-ナーマニュアル <b>V</b> 3	
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学	習・備考	
1	ストレッチポール	を用いたケア					
2	パートナーストレ	ッチ					
3	セルフストレッチ						
4	スポーツマッサー	・ジ(手技基礎、効果性の理解)					
5	スポーツマッサー	ジ(全身ケア・応用)					
6	スノーボードにおける各関節のセルフコンディショニング						
7	スポーツマッサー	ジ (全身ケア・応用)					
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
評価方法・成績評価基準履修上の注意						· ·	
考査60% (試験60点以下の場合追試対象) 平常点40% (学習意欲、取り組み、理解度、出席率) ■成績評価 4 段階評価 100点満点で評価 A (秀 80点以上) B (優 70点以上) C (良 60点以上) D (不可 60点未満)							
宝	宇 終経験教員の経歴 スノーボード日本代表選手専属トレーナー4年、デフリンピックスノーボードフリースタイル日本代表トレーナー2013〜現在						